

全国水平社
創立100年記念出版!

推薦します

姜尚中

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」。水平社の創立から百年。それは、第一次世界大戦という人類史上初めての総力戦とその結末がもたらした驚天動地の社会変動と重なっている。

英国の歴史学者、E・ホブズボームはその未曾有の激動の時代を「破滅の時代」(1914-1945年)と呼んだ。本書は、その時代の水平社の勃興と発展、挫折と変容、再生の歴史を、生々しい運動の歴史から鮮やかに浮き彫りにし、「部落史」の枠から解放して日本の近代史の中にその航跡を位置付けている点で、画期的な意義を有している。

私たちは本書を通じて日本近代の歴史研究の「空白部分」を埋め、「破滅の時代」を潜り抜けてきた近代日本の総体的な自画像を描ける地点にやっと到達することができるようになってきたのである。本書の出版はそれこそ、ひとつの画期的な「事件」と言っても言い過ぎではない。

(カン・サンジュン 鎮西学院大学学長)



人間に光あれ

日本近代史のなかの水平社

FUJINO Yutaka
藤野 豊
KUROKAWA Midori
黒川みどり

A5判・並製・240ページ
定価 1,800円+税 (税込1,980円)
ISBN978-4-86617-176-0

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HP電子書籍の案内ページをご覧ください

その地域に生まれたというだけで差別されることを拒み
人はその人のまま尊厳があり、平等に扱われなければならないと
高らかに謳った、部落解放運動。
すべての差別に、それが許される理由などないことを先駆的に示し
多くの反差別運動に影響を与えた全国水平社の歴史をたどる

2022年
3月3日
刊行!

「犠牲者がその烙印を投げ返す時が来たのだ。
殉教者が、その荊冠を祝福される時が来たのだ。
吾々が穢多である事を誇り得る時が来たのだ。
……」
水平社は、かくして生れた。
人の世に熱あれ、人間に光あれ。」(水平社宣言より)

執筆にあたって

第一章 水平社を生み出した前史

同じにみなされることを求めて——部落改善運動の生起

「改善」から「融和」へ
 「米騒動」という事件
 「人種平等」「人類平等」
 「同情融和」を超えて
 「誇り」の獲得

第二章 全国水平社の創立

協調の時代

人間に光あれ 全国水平社の創立
 水平社創立と社会主義
 水平社創立と融和政策
 デモクラチックな皇室像
 明治天皇への崇敬
 水平社と国本社
 水平社と民族自決論
 排日移民法と水平社
 水平社創立と親鸞回帰論
 募財拒絶闘争の展開
 募財拒絶闘争の消滅
 水平社が求めた荊冠のイエス
 クリスチャンの水平社観

第三章 徹底的糾弾の闘い

全国水平社の原点

婦人水平社の成立——水平社宣言の「修正」
 「無産階級の連帯」への「婦人問題」の解消

第四章 全国水平社における対立とその克服

運動をめぐる思想的対立

融和政策の展開
 全国水平社青年同盟の結成
 遠島スパイ事件と組織の確立
 無産政党結成と水平社
 無産者同盟への改組
 全国水平社青年連盟の結成
 分裂の危機から統一へ
 軍隊内差別との闘い
 中央融和事業協会の設立
 昭和大礼と水平社

第五章 被差別者解放への影響

水平社の結成

水平社と水平社の提携
 躰きの石としての「民族主義」
 アイヌの「誇り」を求めて
 日本プロレタリア癩者解放同盟の結成

ハンセン病と部落問題

第六章 昭和恐慌下の水平社運動の転換

昭和恐慌から満洲事変へ
 恐慌下の被差別部落
 水平社解消論の提唱
 部落委員会活動の開始
 高松差別裁判との闘い
 「人民的融和」の主張
 反ファシズムの闘い
 反ファシズム闘争の頓挫
 水平社と融和団体の接近
 西光万吉の転向
 「街頭新聞」の主張

第七章 戦時下の水平社運動

戦時体制への突入

日中戦争の勃発と皮革産業
 「満洲」移民の奨励
 水平社の戦時体制への対応
 「国体の本義」に徹する水平社
 協同主義の提唱
 大和会の結成
 窮迫する皮革産業
 部落厚生皇民運動の結成
 水平社内の確執
 大和報国運動と水平社
 大和報国運動との決別
 全国水平社の消滅
 悪化する戦局のなかの部落問題

終章 全国水平社の歴史と伝統から学ぶ

藤野豊（ふじの・ゆたか）

一九五二年横浜市に生まれる。敬和学園大学人文社会科学研究所長・図書館長
 主要著書◎『戦後日本の人身売買』大月書店、二〇二二年／『孤高のハンセン病医師——小笠原登「日記」を読む』六花出版、二〇二六年／『黒い羽根』の戦後史——炭鉱合理化政策と失業問題』六花出版、二〇一九年／『強制不妊と優生保護法——「公益」に奪われたいのち（岩波ブックレット）』岩波書店、二〇二〇年／『戦後民主主義が生んだ優生思想——優生保護法の史的検証』六花出版、二〇二二年

著者紹介

黒川みどり（くろかわ・みどり）

三重県津市に生まれる。静岡大学教授
 三重県津市に生まれる。静岡大学教授
 主要著書◎『近代部落史——明治から現代まで』平凡社新書、二〇二二年／『描かれた被差別部落——映画の中の自画像と他者像』岩波書店、二〇二二年／『差別の日本近現代史（藤野豊と共著）』岩波現代全書、二〇二五年／『創られた「人種」——部落差別と人種主義』有志舎、二〇二六年／『評伝 竹内好——その思想と生涯』（山田智と共著）、有志舎、二〇二〇年／『被差別部落認識の歴史——異化と同化の間』岩波現代文庫、二〇二二年（原著『異化と同化の間』青木書店、一九九九年）

注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

発行 六花出版 著 藤野豊・黒川みどり

人間に光あれ

日本近代史のなかの水平社

定価 一、九八〇円（税込）

ISBN978-4-86617-176-0

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。
 お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(3266)8787

電子メール info@rikka-press.jp